



お茶やランチを 楽しみながら 市長と 話してみませんか

「女性100人会議」「オープン会議」スタート

市民の皆さんとともにまちづくりを進めるため、市長自ら市民の皆さんとこ話する「女性100人会議」「オープン会議」を、平成30年度から新たに実施しています。会議は、市民の皆さんの関心が高い情報の共有や意見交換・提案などを、お茶やランチを楽しみながら和やかな雰囲気の中で行います。

第1回の「女性100人会議」は、5月8日、千代川自治会館に桂川市長が出向き、千代川子育て交流会ちびっこひろばの0歳から入園前までの子ども15人と保護者やスタッフの女性の皆さん25人と開催しました。3つのグループに分かれて市長が順にテーブルを



亀岡市で初開催となる近畿市長会総会

近畿各市の発展に向け連携 近畿市長会総会、亀岡で開催

近畿各市の連絡協力を図る「近畿市長会」の第125回総会が、5月23日、ガレリアかめおかで開催されました。近畿市長会総会は昭和28年に設立され、近畿2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県)の全市111市で構成されています。全国市長会と連携して市政の円滑な運営と進展を図り、地方自治の発展に寄与することを事

業目的とし、各府県市長会から提出された議案の審議などを行います。京都府内での開催は平成24年の京都市以来6年振り、亀岡市での開催は今回が初めてとなります。近畿各市から来訪された市長が一堂に会する中、総会の議長を務めるのは開催市長である桂川市長。冒頭で「地方行政が持つ課題を共有し、次なる施策につなげ、近畿各地がますます発展するように、実りある議論をしたいと思えます」と挨拶しました。総会では、歳入歳出予算の審議や会務報告が行われたほか、都市行財政制度の改善、保健医療・社会保障制度の改革の推進、社会福祉・公的扶助制度、都市基盤の整備促進、

詳しくはこちらへアクセス
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/kouhou/shisei/kocho/100.html>



総会で議長を務めた桂川市長

第309十一回
亀岡ちよつと昔の道具箱②
文化財めぐり

イカキ

皆さん、ご飯は何を使って炊いていますか。薪をくべたカマドにかけた羽釜で炊いたご飯は、おいしいと言われますが、羽釜には、現在の炊飯器のような保温の機能はありません。炊いたご飯は、必ず「おひつ」と呼ばれる、木でできた蓋つきの桶に移しました。しかし、「おひつ」にも、保温機能がない以上、冷めるのもやむなしでしょうが、さすがに厳寒期には、「おひつ」として、藁で編んだ容器(フゴ)に入れて、少しでも冷めるのを防いでいました。



▲「イカキ」

反対に蒸し暑い時期には、木製のおひつではなく、竹で編んだ蓋つきの入れ物に、ご飯を移しました。編み目の隙間から風が通ること、ご飯が傷みにくくなる工夫です。また、冷蔵庫のない時代には、少しでも涼しく、またネズミなどの害を防いで保存するために、竹の容器ごと、高いところに吊り下たり、井戸の中に吊り下げたりしていました。

この容器は、一般的には「飯籠」といわれていますが、亀岡近辺では、「イカキ」と呼ぶことが多いようです(実は、竹製の籠のことをイカキと呼ぶのでそこから来ているのかも)。たとえ、便利な機能がなくても、素材の異なる容器を使い分け、さまざまに工夫して、乗り切っていました。(文化資料館)

人権擁護委員・行政相談委員の紹介

人権擁護委員

6月1日は人権擁護委員の日です。

人権擁護委員制度は、人間が人間らしく生きていく権利(基本的な人権)を擁護し、お互いの人権を尊重し合える社会を築くための制度です。

本市では、次の11人が法務大臣から委嘱を受け、人権相談や啓発活動に活躍いただいています。



- (敬称略、順不同)
前田昌信(千代川町)
江口昌道(薄田野町)
日下部あい子(東本梅町)
塚本綾佳子(西つじヶ丘)
杉崎六男(千歳町)
美馬義晴(吉川町)
川田和歌子(西つじヶ丘)
長尾繁(保津町)
佐々木幸枝(東別院町)
桂喜久子(保津町)
井上具美子(西町)

行政相談委員法に基づき総務大臣から委嘱される委員で、市民の相談相手として、国など行政の仕事に関する苦情や問い合わせの相談を受け、事案の解決に努めています。本市では、次の2人に活躍いただいています。

行政相談委員

(敬称略、順不同)
川勝雅(東別院町)
伊藤正明(大井町)

行政相談は、原則毎月第4木曜日、午後1時30分から4時まで。市役所1階の市民相談室(10月は第3木曜日に市民ホール)で行っています。秘密は厳守しますのでお気軽にご相談ください。詳しくは、市民課市民相談係 ☎25・5005 または、京都府行政監視行政相談センター ☎075・802・1100へ